



はじめてのゲーム・触ってなぁに？

年齢 : 2才ぐらいから
時間 : 10分ぐらい

人数 : 1人から2人
デザイン : Jutta Neundorfer

セット内容 : 羊1個 / 袋1個 / 木製パーツ12個 / クローバーの葉6枚・説明書1冊

ご両親へ

このゲームはお子様にさまざまな遊びと活動をご提供します。

- ・小さい子にはルールなしの自由な遊び
- ・感覚あそび「羊が食べたものは何？」
- ・応用ゲーム「ペアを探り当てよう」

遊びの導入：自由な遊び

ここでは感覚の器用さを鍛えることがねらいです。子どもの手の大きさにあったパーツをつかんでさまざまな形があることを発見しながら子どもと一緒に遊んでください。

木製パーツの色や形について話ながら、言葉を増やしたり、聞き取り能力や創造力を高めたり、遊びの面白さを感じさせてください。ごっこ遊びをしてもよいでしょう。

感覚あそび：「羊が食べたものはなぁに？」

☆準備☆ すべての木製パーツを机の上に並べ、よく見てかたちを確かめてください。同じ形のパーツは2つあります。ペアから1種類ずつ取り出し、箱の中に分けます。残ったパーツはテーブルの上に置いたままにします。羊とクローバーの葉は横に置いておきます。

☆進め方☆ 羊にさわったことのある人からはじめましょう。決まらない場合は一番年少のプレイヤーからはじめます。初めの人にはひつじと袋を手元にもらいます。もう一人のプレイヤーはその間、目を閉じていてください。袋の中から好きなパーツを1つを見えないようにして取り出し、羊のお腹の中に隠します。

もう一人のプレイヤーは「羊が何を食べたのか」を当てます。

それでは目を開けてください。両手で羊を触って、どの木製パーツが隠れているかを当ててみましょう。答えがわかったら、これと思うパーツを机の上から探して手前に置きます。答えが正しいかどうか、羊のお腹のパーツを取り出して確かめます。

パーツは正しかった？

はい

お見事！
ご褒美に机の上のクローバーの葉をもらい、手前に置きます。

いいえ

残念・・・
クローバーの葉をもらうことはできません。



続いて、羊のお腹のパーツをまた袋の中にもどします。選んだ木製パーツも机の上に戻します。それではプレイヤーは交代してゲームを進めます。

☆終了☆ クローバーの葉がすべてなくなったらゲーム終了！クローバーの葉を多く持っている人の勝ちです。同点の場合は引き分けです。

応用ルール：ペアを探そう



基本ルールは「羊が食べたものはなぁに？」と同じだけど、次の点だけ変更だよ！

- ・木製パーツは机の上に広げるのではなく、箱の中に伏せておく。
- ・出題者は箱に入れたパーツの中から一つ選び、羊のお腹に入れる。
- ・解答者は袋の中から手探りで、羊のお腹のパーツと同じものを探し出す。
- ・ペアになっていたら、ご褒美にクローバーの葉をもらう。